

I-O DATA

**E**asy イージーセーバー4  
**S**aver4 / **Pro**

# 取扱説明書

# 取扱説明書の説明

本書は、EasySaver4、EasySaver4 Pro についての取扱説明書です。  
記載されている画面などは EasySaver4 の画面で表記しています。  
EasySaver4 Pro をお使いの場合も画面は同様です。  
※一部異なる場合があります。

## EasySaver4 の場合

本書（EasySaver4/pro 取扱説明書）をお読みください。

## EasySaver4 Pro の場合

EasySaver4 Pro をお使いの方は、【インストール編】と【本書】に分かれています。インストール編は、管理者の方がお読みください。

インストール編	本ソフトウェアのインストール方法およびクライアント PC の共通動作オプションの設定を説明しています。 ネットワーク管理者の方がお読みください。
本書	【起動する / 終了する】以降をお読みください。

# 目次

主な機能と特長	4
お使いになる前に	5
インストールする	6
起動する / 終了する	8
<b>バックアップ</b>	
バックアップジョブについて	9
おまかせバックアップ	10
バックアップジョブを作成する	14
バックアップジョブを開く	18
<b>リストア</b>	
リストア（復元）する	28
リストアする（方法1）	28
リストアする（方法2）	32
<b>便利な使い方</b>	
バックアップジョブのショートカットを作成する	34
バックアップ終了後自動でシャットダウンする	36
オートバックアップメディアを作成する	38
<b>その他</b>	
バックアップ先に十分な空き容量がない場合	42
バックアップジョブ設定引き継ぎ機能	44
バックアップジョブを削除する	45
EasySaver4 のプロパティについて	46
権限変更ツールについて	51
EasySaver Restore について	52
バックアップ結果の確認について	54
EasySaver の削除	56
オンラインメンバーを表示する	58
ツールバーについて	59
困ったときには	60
お問い合わせ	62

# 主な機能と特長

EasySaver (イージーセーバー) は、手軽に手間なくバックアップできるユーティリティソフトです。

簡単な操作でフォルダやファイルを登録し、自動またはマニュアルでハードディスクや MO、DVD-RAM などに大切なデータをバックアップできます。

万一のデータの破損や誤消去に備えることができます。

## ●フルバックアップ

バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。

万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。

## ●差分バックアップ

バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。

変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

## ●スケジュールバックアップ

あらかじめ登録されたバックアップ対象を、指定された日時/間隔等のスケジュールに従って、自動的にバックアップを実施します。

いったんスケジュールを登録すれば、それ以降はバックアップの実施を意識する必要がありませんので、確実にバックアップを実施できます。

## ●自動バックアップ

バックアップ対象フォルダ/ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。

## ●圧縮保存

バックアップデータを圧縮して保存します。

バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効活用できます。

## ●分割保存

バックアップデータが一つのディスクに収まらない場合でも、複数のディスクに分割してバックアップできます。

## ●履歴管理

バックアップデータは、バックアップを実施した日時と共に管理されますので、リストアップ時には過去にバックアップを実施した日時の中から好きな日時を選択して、その時の状態に復元できます。

## ●データブラウジング

バックアップしたデータの内容をエクスプローラのような画面で参照することができ、ファイル/フォルダ単位で個別にリストアップできます。

## ●オートバックアップメディア

MO や DVD-RAM 等のリムーバブルメディアをオートバックアップメディアにできます。

# お使いになる前に

## 動作環境

対応機種	Windows パソコン
対応 OS	Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 Professional
CPU	Pentium III 450MHz 以上推奨 (OS の推奨環境に準じます。) (大量のデータを扱う場合には、より高速な環境をお奨めします。)
メモリー	128MB 以上推奨 (Windows 8/7/Vista® では 512MB 以上)
空き容量	30MB 以上 (別途バックアップ用の空き容量が必要です。)
対応メディア	<b>●バックアップ元</b> ハードディスク、MO、DVD-RAM 等ファイルシステムで読み取り可能なメディア全般、コンピューター (マイコンピュター) 上に割り当てられたネットワークドライブ <b>●バックアップ先</b> ハードディスク、MO、パケットライトフォーマットされた DVD-RAM、CD-R/RW や DVD ± R/RW、等ファイルシステムで読み書き可能なメディア全般、コンピューター (マイコンピュター) 上に割り当てられたネットワークドライブ ※ FDD、USB メモリー、フラッシュメモリーカードを除く

## 箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

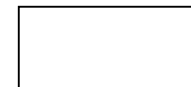
にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

CD-ROM (1 枚)



Ver シール (1 枚)



Ver シールに記載してあるシリアル番号 (S/N) は、ユーザー登録やソフトウェアのダウンロードの際に必要です。

・ユーザー登録 ⇒ <http://ioportal.iodata.jp/>

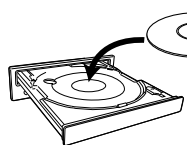
・ダウンロード ⇒ <http://www.iodata.jp/lib/>

ここに Ver シールを貼ってください。

# インストールする

- コンピューターの管理者のアカウント (Administrator 権限) でログオンしてください。
- 他の弊社製 EasySaver (EasySaver2 以前のバージョンや EasySaver LE 等) をすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本ソフトウェアをインストールしてください。
- 他の弊社製 EasySaver (EasySaver2 以前のバージョンや EasySaver LE 等) との互換性はありません。そのため、旧ソフトのバックアップジョブは、「EasySaver Restore」によるリストア・閲覧のみ可能です。(「EasySaver Restore について」52 ページ参照)

1

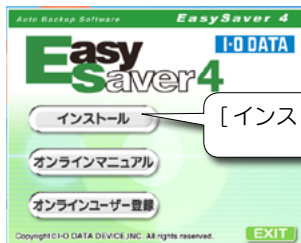


サポートソフト CD-ROM を挿入する

⇒自動的にメニュー画面が表示されます。

- 自動的にメニュー画面が表示されない場合は・・・  
「EasySaver4」CD-ROM 中にある [AUTORUN] アイコンをダブルクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] (許可) をクリックしてください。

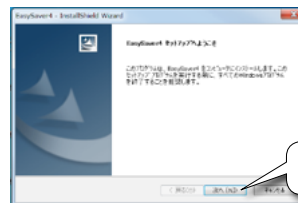
2



← メニュー画面

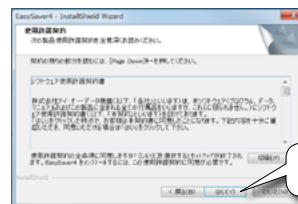
[インストール] をクリック

3



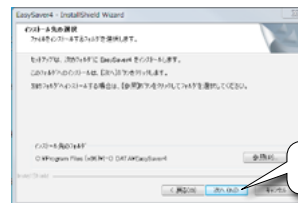
[次へ] をクリック

4



[はい] をクリック

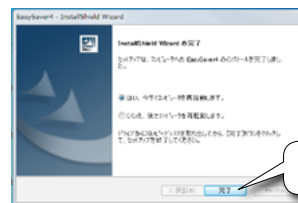
5



[次へ] をクリック

インストール先フォルダを変更する場合は [参照] ボタンをクリックし、変更してください。

6



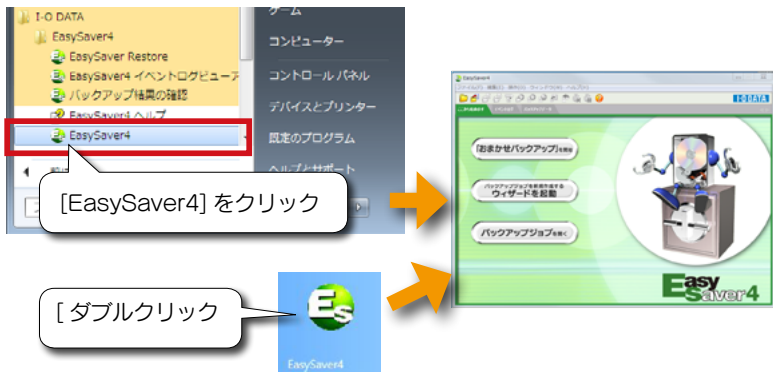
[完了] をクリック

自動で再起動します。  
再起動後、EasySaver のインストールは完了です。

# 起動する / 終了する

## 起動する

[スタート] → [(すべての)プログラム] → [I-O DATA] → [EasySaver4] → [EasySaver4] の順にクリックします。  
Windows 8 の場合は、[EasySaver4] アイコンをダブルクリックします。



# バックアップジョブについて

バックアップジョブとは・・・

EasySaver では、バックアップは「バックアップジョブ」という単位で管理されています。

まず最初に、バックアップしたいフォルダやファイル、バックアップ先のドライブ、必要に応じてスケジュールなどを指定してバックアップジョブを作成します。

それ以降はバックアップジョブを指定してバックアップを行います。

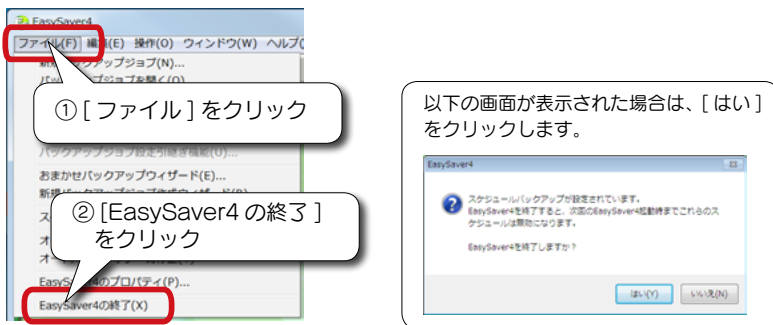
バックアップジョブはいくつでも作成することができます。

スケジュールなどの設定もバックアップジョブごとに設定できます。

ただし、一旦作成したバックアップジョブにフォルダ / ファイルの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。

- 弊社製 HDPX/HDMX シリーズ (ライトプロテクト時) など、Windows からリムーバブルディスクとして認識されるデバイス (リムーバブルメディアを使用しないタイプのみ) にバックアップする場合、デバイスの空き容量がバックアップに要する容量より少ない場合はバックアップできません。
- EasySaver でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ / 休止 / スリープなどの省電力モードにすることはできません。

## 終了する



終了させるには、上記手順の [ファイル] → [EasySaver の終了] の順にクリックしてください。(完全終了)

※タイトルバーの ボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。(画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。)

スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよび EasySaver は、上記手順のみ終了することができます。

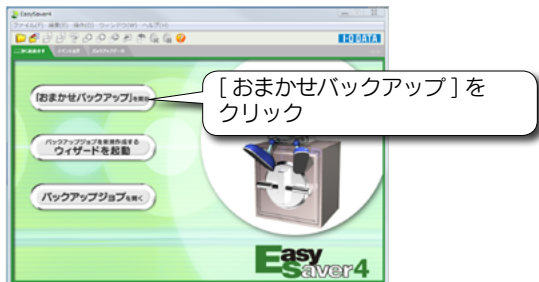
EasySaver4 ヘルプもご利用ください



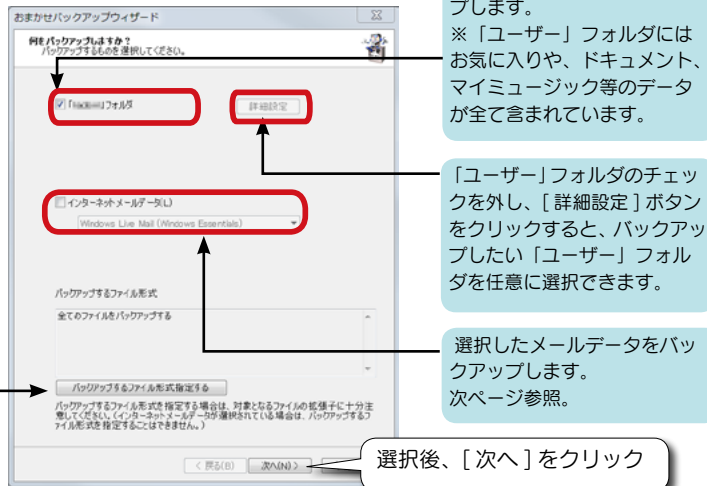
# おまかせバックアップ

「おまかせバックアップ」では、お使いのパソコンの「マイドキュメントフォルダ」「お気に入りフォルダ」「インターネットメールデータ」などを簡単にバックアップすることができます。

**1** EasySaver4 を起動し、「おまかせバックアップ」をクリックします。



**2** ▼ Windows 8/7/Vista の場合



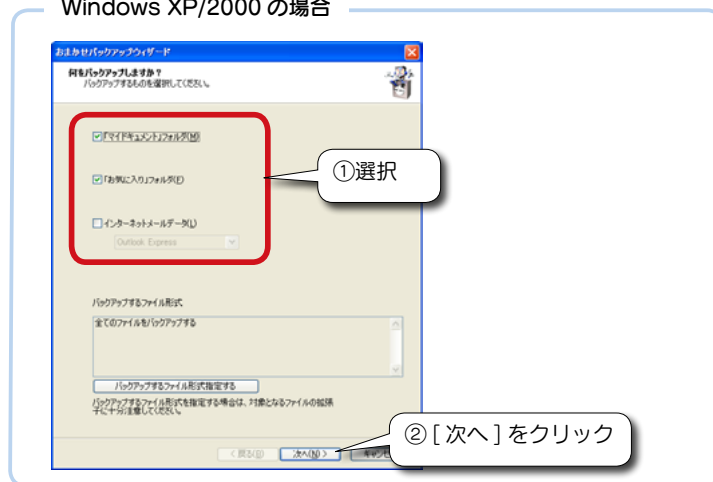
「ユーザー」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。  
※「ユーザー」フォルダにはお気に入りや、ドキュメント、マイミュージック等のデータが全て含まれています。

「ユーザー」フォルダのチェックを外し、「詳細設定」ボタンをクリックすると、バックアップしたい「ユーザー」フォルダを任意に選択できます。

選択したメールデータをバックアップします。  
次ページ参照。

バックアップするファイルの形式を選択することができます。次ページ参照。

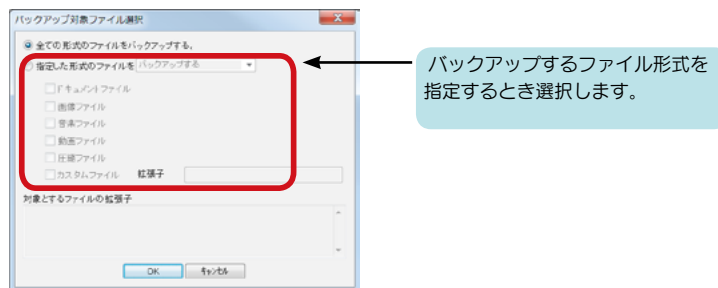
Windows XP/2000 の場合



## ■インターネットメールデータについて

メールソフト	OS	メール	アドレス
Outlook 2007	Windows 7/Vista/XP	○	○
Outlook Express	Windows XP/2000	○	○
Becky!	Windows Vista/XP/2000	○	○
Windows Mail	Windows Vista	○	○
Windows Live Mail (Windows Essentials)	Windows 8/7	○	×

## ■「バックアップするファイル形式指定する」について



## おまかせバックアップ (つづき)

**3**

① [バックアップ先ドライブ] を選択

② [次へ] をクリック

**4**

① どちらかを選択

② [完了] をクリック

「いいえ。ここではバックアップを開始しません。」を選択した場合  
 「はい。すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合

**5**

① [パスワード] を入力  
 ※半角英数字 (最大 16 文字)  
 ※不要な場合は空白のまま

② [OK] をクリック

- パスワードは必ず、何かにメモしてください。パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。
- パスワードは「\*\*\*\*\*」と表示され確認できません。大文字・小文字の区別もありますので、お間違えないようご注意ください。
- 上記画面は初めてパスワードを設定する場合です。次回、パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを入力します。

**6** バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示されます。

[バックアップを完了しました。]

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。

以上で「おまかせバックアップ」は終了です。  
 作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、「バックアップジョブを開く」18ページへおすすみください。

設定した内容でバックアップを開始します。

バックアップ

ファイルを追加します。

フォルダを追加します。

バックアップジョブを設定します。

バックアップジョブを保存します。



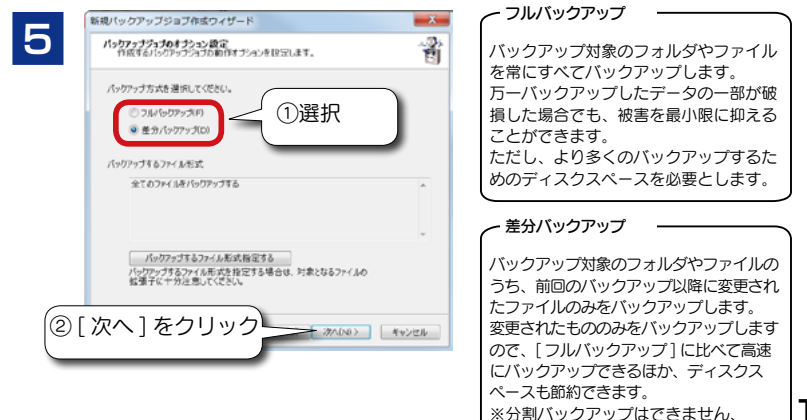
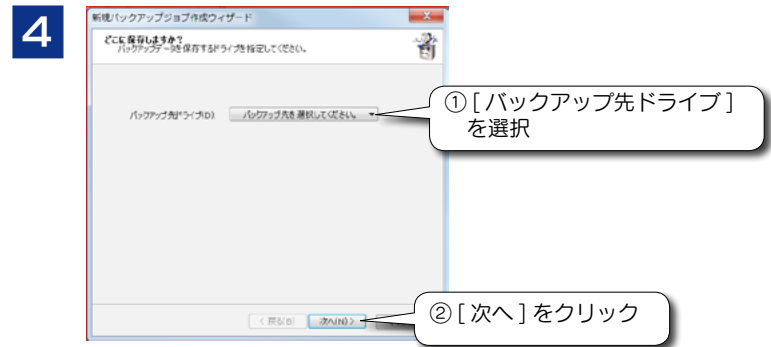
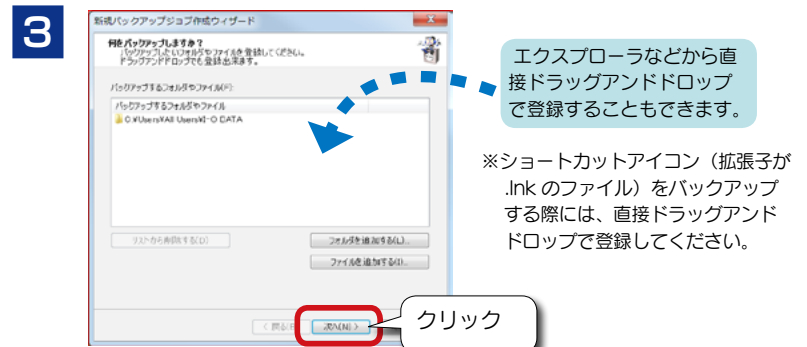
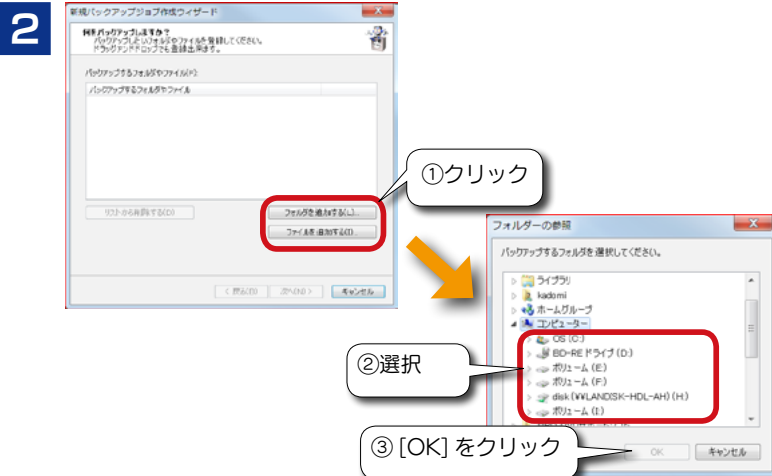
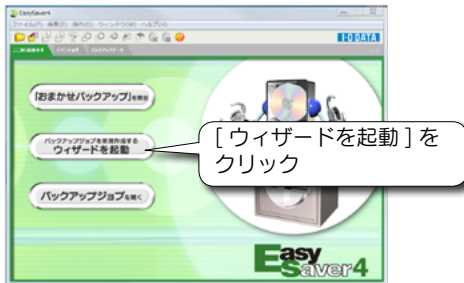
# バックアップジョブを作成する

おまかせバックアップでバックアップできないデータを保存する場合はバックアップジョブを新規で作成します。  
あらかじめ、バックアップしたいファイル、データがどこにあるかをアプリケーション等の取扱説明書でご確認ください。

●弊社では、アプリケーション等のバックアップしたいファイル、データの場合については、お答えできません。また、OS やアプリケーション自体のバックアップ（コピー）はおこなえません。

●ネットワークドライブをバックアップ元にする場合は、安定して接続されていることを確認してください。

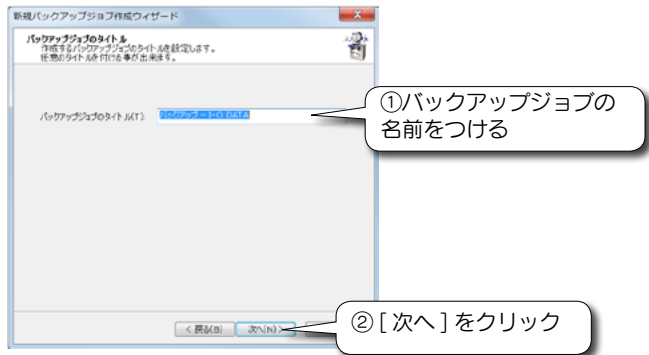
**1** EasySaver4 を起動し、[ウィザード起動] をクリックします。



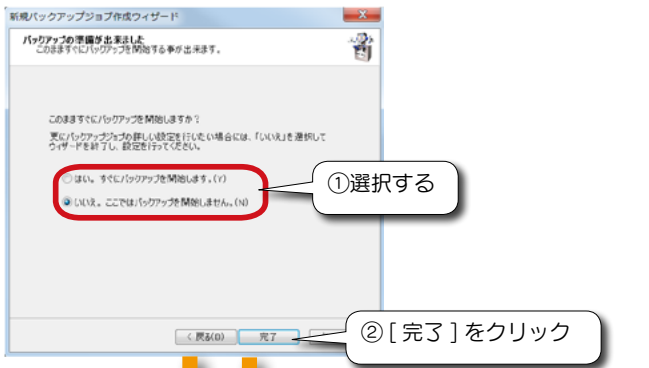


## バックアップジョブを作成する (つづき)

6

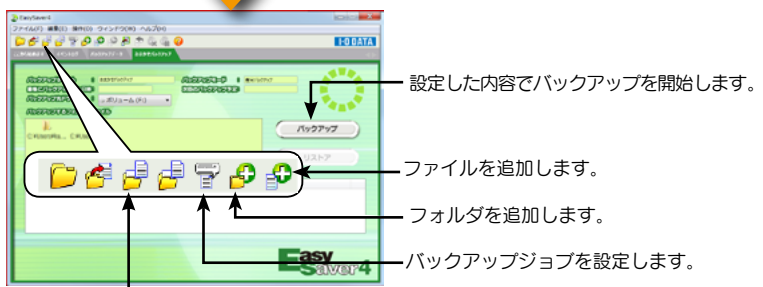


7



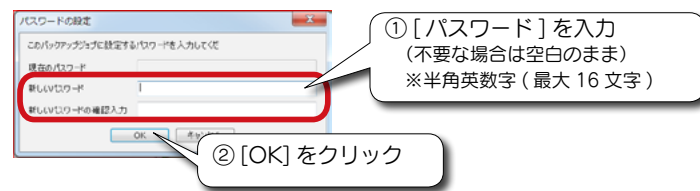
「いいえ、ここではバックアップを開始しません。」を選択した場合

「はい、すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合



バックアップ先に十分な空き容量がない場合は、「メディアを交換する」または「分割してバックアップ」をおこないます。  
「バックアップ先に十分な空き容量がない場合」42 ページ参照。

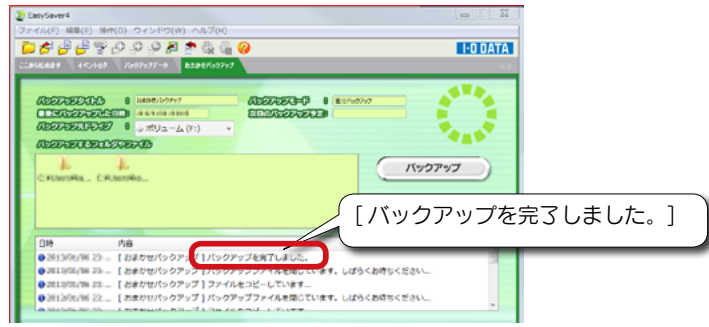
8



- パスワードは必ず、何かにメモしてください。パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。
- パスワードは「\*\*\*\*\*」と表示され確認できません。大文字・小文字の区別もありますので、お間違えないご注意ください。
- 上記画面は初めてパスワードを設定する場合です。次回、パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを入力します。

9

バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示されます。



正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。

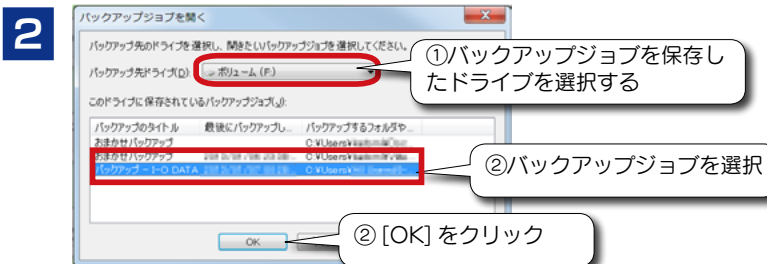
以上でバックアップジョブの作成、バックアップは終了です。作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、「バックアップジョブを開く」18 ページへおすすみください。

# バックアップジョブを開く

バックアップを一度でも完了していれば、バックアップジョブが作成されます。EasySaver 起動画面の [バックアップジョブを開く] では、作成したバックアップジョブの再実行や、リストア、また、作成したバックアップジョブの設定の変更ができます。

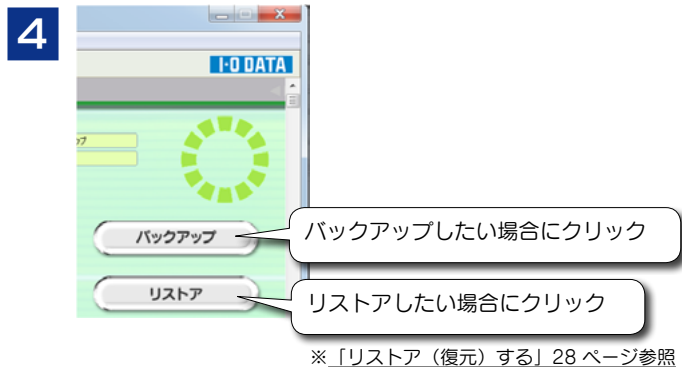
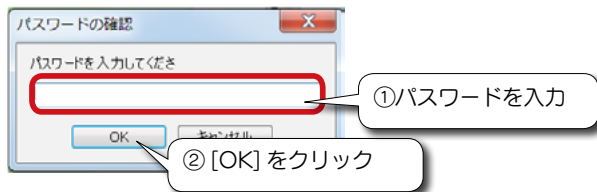
作成したバックアップジョブにフォルダやファイルの追加はおこなえません。新たにバックアップジョブを作成する必要があります。

- 1 EasySaver4 を起動し、[バックアップジョブを開く] をクリックします。




多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。(ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。)

- 3 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。設定したパスワードを入力後、[OK] をクリックします。

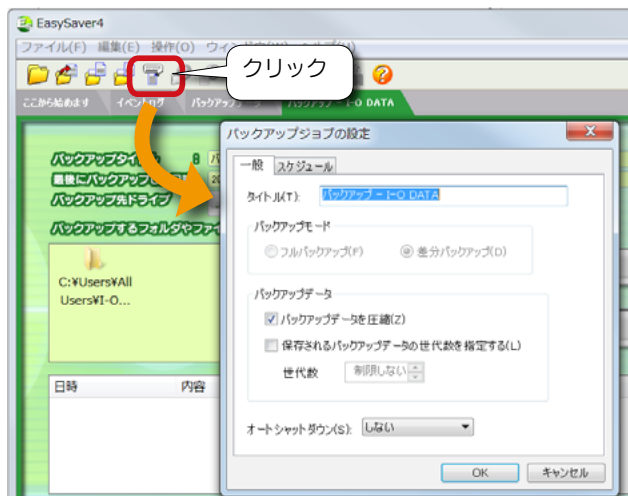


ログインしたユーザーのフォルダおよびファイルが対象となります。

### バックアップジョブを変更する

バックアップジョブの設定を変更する場合は、ツールバーの  をクリックします。

※またはメニューの [編集] → [バックアップジョブのプロパティ] をクリックします。



いったん作成したバックアップジョブにファイルやフォルダの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。

#### バックアップモード

##### ■フルバックアップ

バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。万一、バックアップしたデータの一部分が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。

※容量が小さなメディア (MO や Zip 等) に複数枚にわたってバックアップする場合 (分割バックアップ) は、こちらを選択してください。

##### ■差分バックアップ

バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

※ただし容量が小さなメディア (MO や Zip 等) に複数枚にわたってバックアップすること (分割バックアップ) はできません。

#### バックアップデータ

##### ■バックアップデータを圧縮

チェックすると、バックアップデータを圧縮して保存します。バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用することができます。

※バックアップデータを圧縮する時間がかかるため、バックアップ時間が若干遅くなります。

※バックアップするデータによってはあまり効果が期待できない場合があります。

##### ■保存されるバックアップデータの世代数を指定する

チェックすると、保存されるバックアップデータの世代数を指定できます。

(下記【フルバックアップデータの世代数について】を参照)

バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用することができます。フルバックアップ/差分バックアップの両方に対応しています。

#### オートシャットダウン

バックアップを完了した後、自動的にパソコンを終了 (シャットダウン) します。

スケジュールを設定してあるバックアップジョブでも、オートシャットダウンを設定するとバックアップ後、自動的にパソコンを終了 (シャットダウン) します。

指定できるシャットダウンの種類には、「しない」「シャットダウン」「スタンバイ」「休止状態」の4つがあります。

#### ●【フルバックアップデータ】の【世代数】について

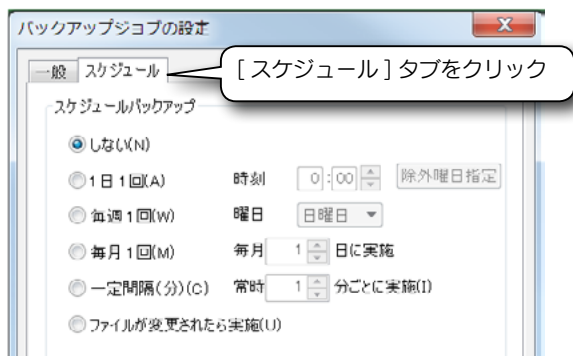
[フルバックアップ] 時には、指定された世代数以前のバックアップデータを削除します。[差分バックアップ] 時には、指定された世代数以前のデータを結合して一つのデータにまとめます。ただし、世代数「1」を指定した場合は、毎回以前のデータを削除します。

また、多数のファイルがバックアップされている場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

例えば、世代数「3」を設定している場合、3回目のバックアップまでは通常通りの動作をし、4回目のバックアップを行う際に、第1世代と第2世代のバックアップデータを結合した上でそれを第2世代とし、1世代分の空きを作り (第1世代は削除されます)、4回目のバックアップを行います。

【3回目】	【4回目】	【5回目】
第1世代	第2世代	第3世代
第2世代 →	第3世代 →	第4世代
第3世代	第4世代	第5世代

### ■スケジュールバックアップをする



しない	スケジュールを設定しません。 このバックアップジョブを常に手動でバックアップする場合にはこれを指定します。
1日1回	毎日1回、指定された時間にバックアップを実施します。 「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。 また、[除外曜日指定] より指定した曜日のバックアップをおこなわないように設定できます。
毎週1回	毎週1回、指定された曜日/時間にバックアップを実施します。 「曜日」でバックアップを実施する曜日を指定し、「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。
毎月1回	毎月1回、指定された日/時間にバックアップを実施します。 「毎月～日に実施」でバックアップを実施する日と時刻を指定してください。
一定間隔(分)	パソコンが起動している間、指定された間隔でバックアップを実施します。 「常時～分ごとに実施」でバックアップを実施する間隔を分単位で指定してください。(次ページ「一定間隔(分)について」参照)
ファイルが変更されたら実施	バックアップ対象のフォルダ/ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。 (自動バックアップ機能)

●スケジュールバックアップの「一定間隔(分)」について  
バックアップの作業が終了してからの時間です。例えば、「一定間隔(分)」に120分を設定し、バックアップ作業に10分要した場合、バックアップが終了した時間から120分後(前回のバックアップ開始から130分後)に再度バックアップを開始します。「一定間隔(分)」間隔でバックアップが開始されるバックアップ設定ではありません。

●スケジュール(自動)バックアップの設定をおこなうと、常駐します。  
また、スケジュール(自動)バックアップの設定時、タスクトレイにアイコンを表示させることができます。(タスクトレイのアイコン表示設定方法は、「EasySaver4のプロパティについて」46ページ参照。

●EasySaverを終了させるには  
[ファイル]メニュー→[EasySaver4の終了]の順にクリックしてください。(完全終了)  
※タイトルバーのボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。(画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。)スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよびEasySaverは、上記手順のみ終了することができます。

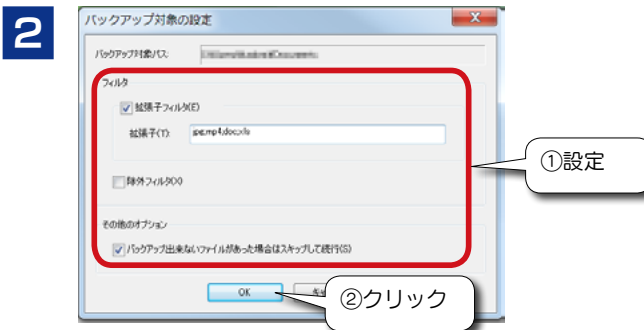
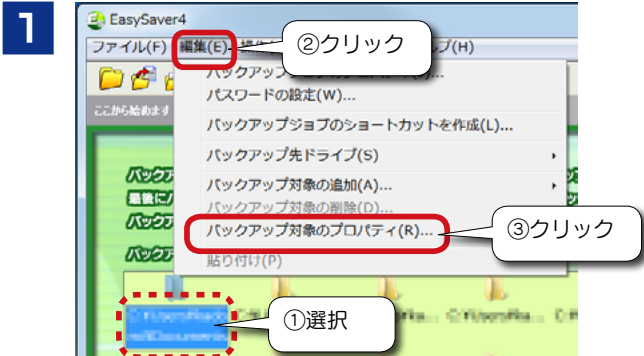
### ●スケジュールの延期について

スケジュールで指定された時刻にバックアップを実施できなかった場合(パソコンに電源が入っていなかった、バックアップ先のドライブにメディアが入っていなかった、EasySaverを終了していた…等)、EasySaverは、そのスケジュールを一時延期し、バックアップが可能になり次第そのバックアップを開始します。  
また、スケジュールが延期されている状態で、さらにその次のスケジュールも実行できなかった場合には、そのスケジュールはキャンセルされ、最初のスケジュールのみが待機します。  
つまり、何度もスケジュールを実行できなかった場合でも、バックアップが可能になって実施されるバックアップは1回だけです。

## バックアップジョブを開く (つづき)

### バックアップ対象の設定を変更する

バックアップ対象とするファイルの拡張子によってバックアップするファイルを選別することもできます。



#### ■拡張子フィルタ

選別する拡張子を入力します。

複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン) で区切って入力してください。

(例) jpg;doc;mpg

#### ■除外フィルタ

「バックアップしたくない」ファイルを設定する場合にチェックします。

上記「拡張子」欄で指定された拡張子を持つファイル「以外」のファイルがバックアップされるようになります。

■バックアップできないファイルがあった場合にはスキップして続行  
チェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。

#### ・ファイルがロックされている

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取れないようにロックする場合があります、そのようなファイルはバックアップする事ができません。

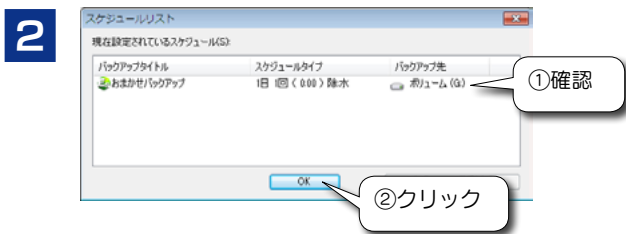
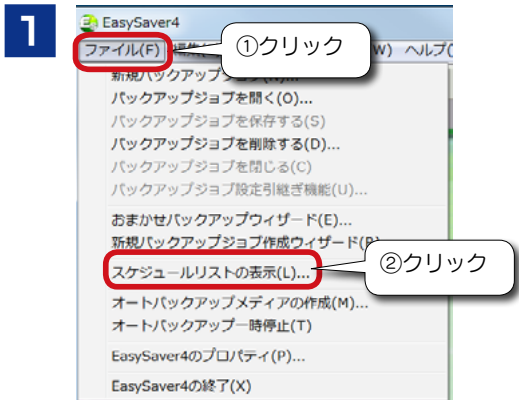
基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行する事をお勧めしますが、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合などに、前ページ画面の「バックアップできないファイルがあった場合にはスキップして続行」のチェックボックスをチェックします。

#### ・ファイル/フォルダ名に特殊な文字が使用されている

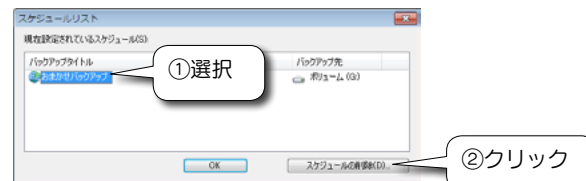
一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。そのようなファイルも、前ページ画面の「バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行」のチェックボックスをチェックしてスキップする事ができます。  
※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

### バックアップスケジュールを確認・削除する

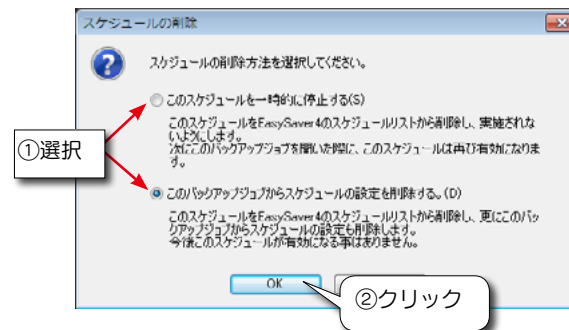
スケジュール設定されているバックアップのリストを表示し、確認、削除できます。



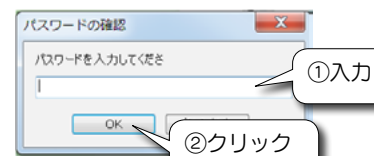
**3** 削除する場合は、バックアップジョブを選択して、「スケジュールの削除」をクリックします。



**4** 削除方法を選択して、「OK」をクリックします。



パスワードを設定していた場合  
パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



以上でスケジュールの確認・削除は終了です。

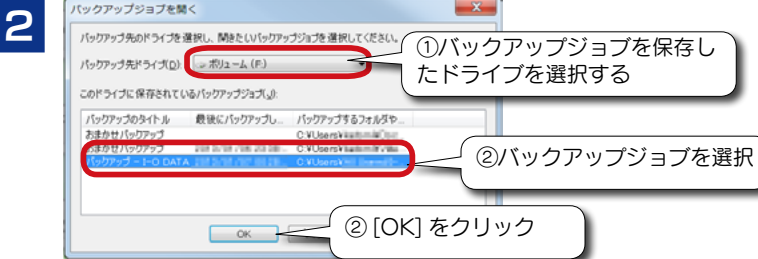


# リストア（復元）する

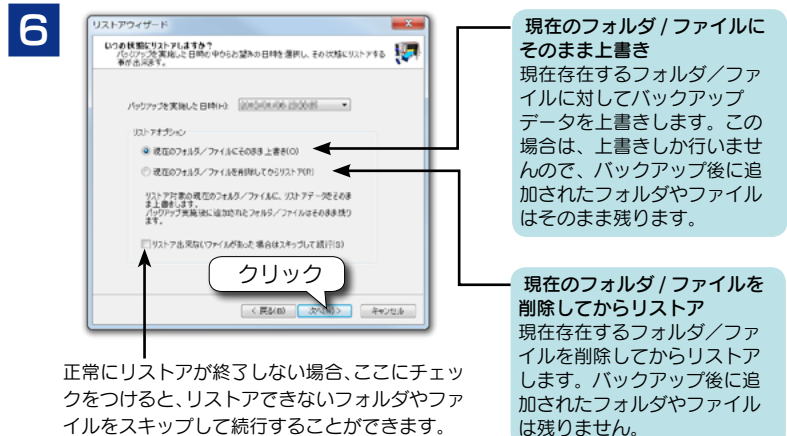
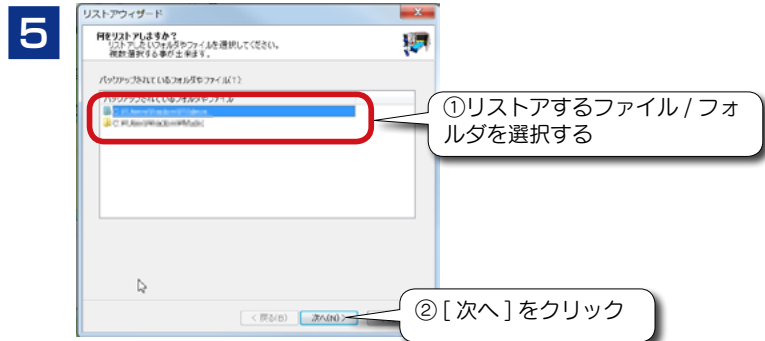
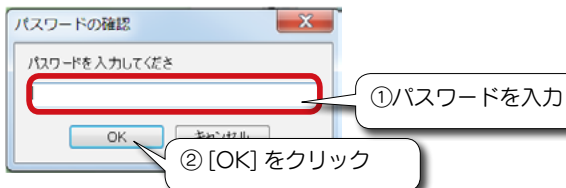
バックアップをおこなったフォルダ・ファイルのリストアには2通りの方法があります。

## リストアする（方法1）

- 1 EasySaver4 を起動し、[バックアップジョブを開く] をクリックします。

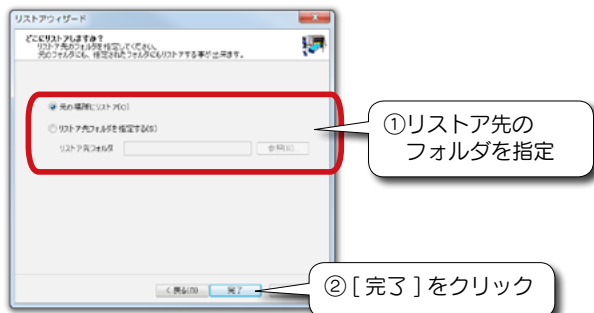


- 3 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。設定したパスワードを入力後、[OK] をクリックします。





7



複数のフォルダ / ファイルを一度にリストアする場合は、[元の場所]にリストアのみ選択可能です。

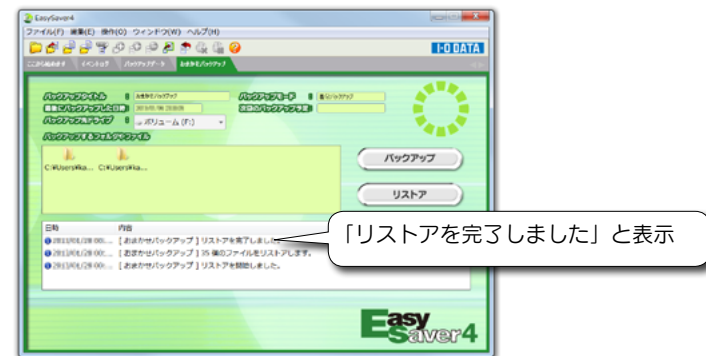
以下の画面が表示された場合

[リストアオプション] で [現在のフォルダ / ファイルにそのまま上書き] を選択した場合に、リストア先にすでにファイルがある場合は、以下の画面が表示されます。上書きする場合は [はい]、[すべて上書き] をクリック、しない場合は [いいえ] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、リストアを中断します。



8

リストアが正常に終了すると、画面下に「リストアを完了しました。」と表示されます。



正常にリストアが終了しなかった場合は？  
「困ったときには」の【リストアが正常に終了しない】を参照してください。

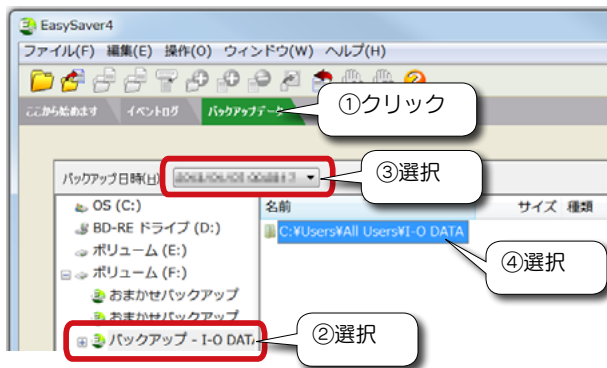
以上でリストアは終了です。

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・  
バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字 (番号) であれば、リストアすることが可能です。ただし、バックアップしたときと同じフォルダ構成でリストアするため、同じフォルダ名が存在しない場合は自動的に同じフォルダを作成し、リストアします。

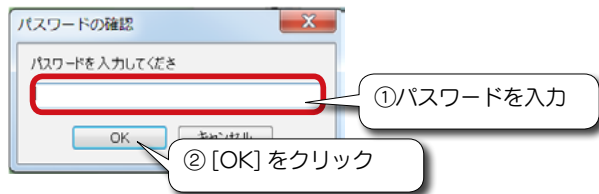
## リストアする (方法2)

[バックアップデータ] ウィンドウでリストアをおこないます。  
フォルダやファイル単位でリストアすることができます。  
バックアップジョブの内容を確認することもできます。

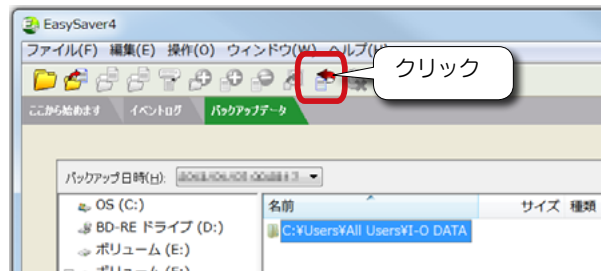
### 1 バックアップジョブを選択します。



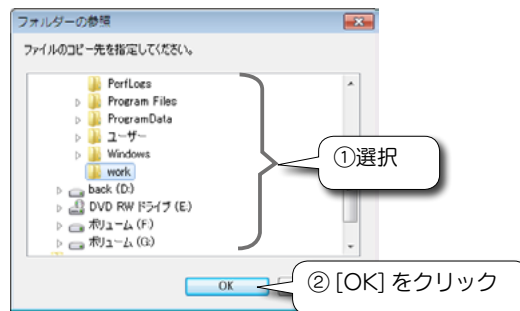
### 2 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。設定したパスワードを入力後、[OK] をクリックします。



### 3

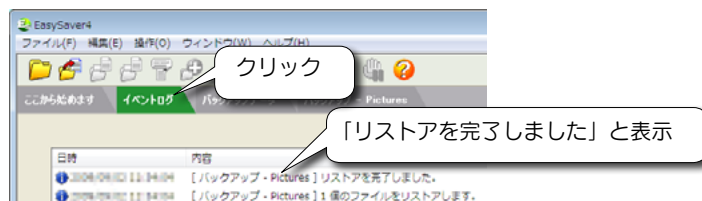


### 4 リストア先のフォルダを指定し、[OK] をクリックします。⇒リストアを開始します。



### 5

### リストアの終了を確認します。



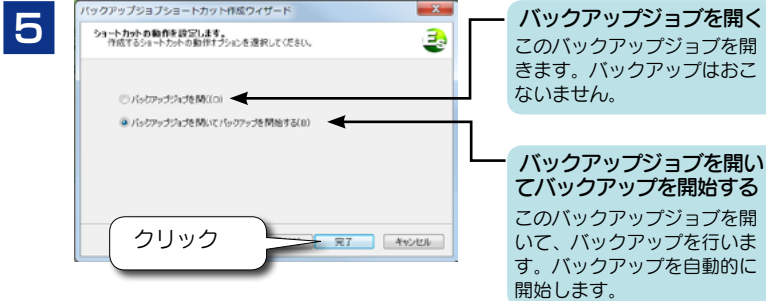
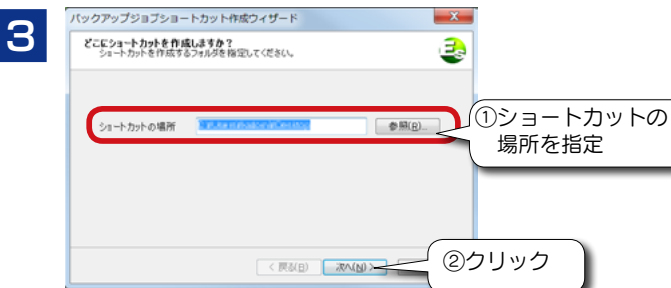
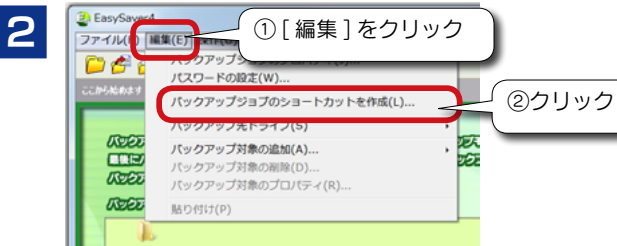
以上でリストアは終了です。

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・  
バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字 (番号) であれば、リストアすることが可能です。

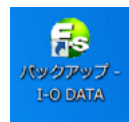
# 便利な使い方

## バックアップジョブのショートカットを作成する

1 バックアップジョブを開きます。  
「バックアップジョブを開く」18 ページ参照。



以下のようなアイコンが作成されます。



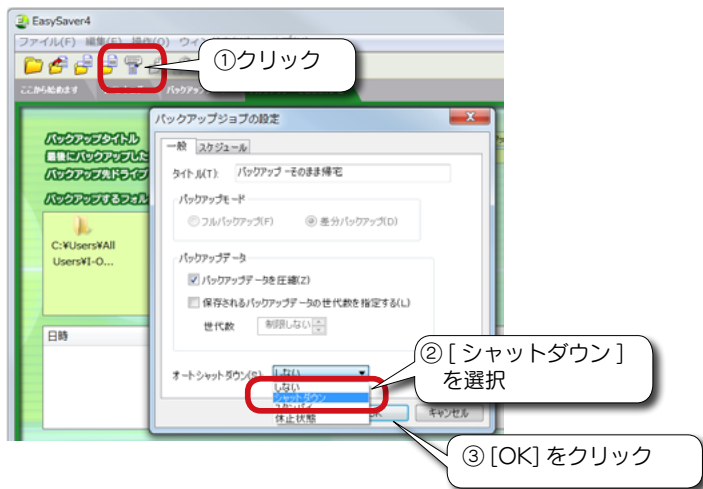
## バックアップ終了後自動でシャットダウンする

会社などで、終業時にバックアップを開始してから帰宅し、バックアップ終了後自動でパソコンの電源を切りたいといったような場合に便利な方法です。

### 1 バックアップジョブを開きます。

「バックアップジョブを開く」18 ページ参照。

### 2 バックアップジョブの設定を変更します。



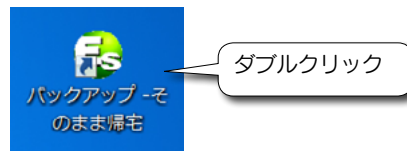
### 3 ショートカットアイコンを作成します。

「バックアップジョブのショートカットを作成する」34 ページ参照。



### 4 作成されたバックアップジョブアイコンをダブルクリックします。

バックアップを実行し、終了後自動的にシャットダウンするのでそのまま帰宅することができます。



## オートバックアップメディアを作成する

※この機能は、EasySaver4 Pro では使用できません。

リムーバブルメディアをオートバックアップメディアとして作成すれば、メディアをドライブにセットするだけで、自動でバックアップを行うことができます。

※オートバックアップメディアでは スケジュールの設定はおこなえません。

### 対応メディア

DVD-RAM、MO、  
パケットライトソフトでフォーマットされた CD-R/RW、DVD ± R/RW

※ Windows 8/7/Vista® で使用する場合、パケットライトソフトは無効にし、Windows 8/7/Vista® 標準のパケットライト機能でフォーマットをおこなってください。

※ パケットライトソフトでフォーマットされたメディアを使用する場合には、別途パケットライトソフトが必要になります。(弊社では(株)B.H.A.社製 B's CLiP を使用して動作を確認しております。)

※ USB メモリー、メモリーカード、iVDR、フロッピーディスク、はお使いいただけません。

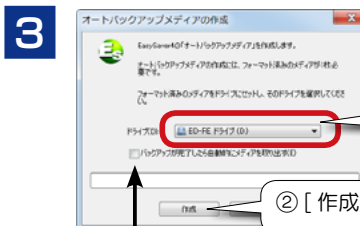
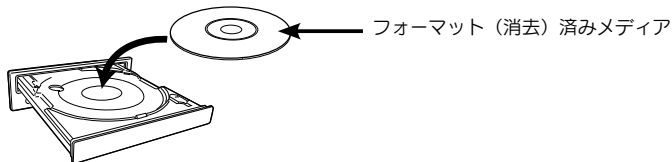
※容量が小さなメディア (MO や Zip 等) に複数枚にわたってバックアップ (分割バックアップ) することはできません。

※ DVD/CD メディアで作成したオートバックアップメディアは、コンピューターの管理者のアカウント (Administrator 権限) でのみ使用することができます。

## オートバックメディアを作成する

**1** オートバックアップメディアとして作成するメディアをドライブにセットします。

※メディアはフォーマットしてください。(以降は CD/DVD の例です。)

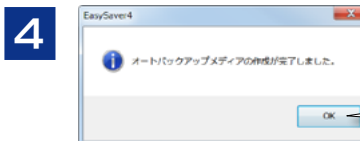


CD/DVD をオートバックアップメディアにする場合は、チェックを外してください。

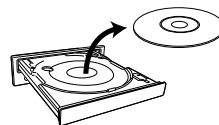
Windows XP/2000 で MO、DVD-RAM などのリムーバブルメディアを自動的にイジェクトするには、通常、管理者 (Administrator) 権限が必要です。

[リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール] を使い設定すれば、すべてのユーザーでイジェクトできるようになります。

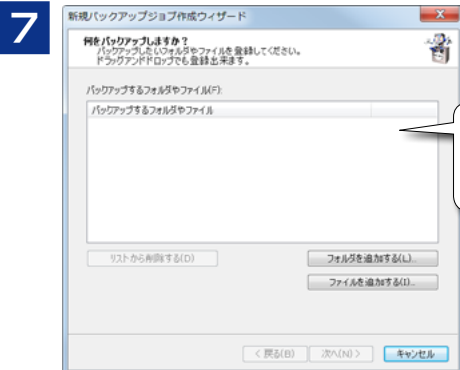
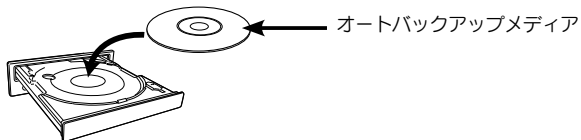
(【リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール】66 ページ参照)



**5** オートバックアップメディアが作成されました。  
メディアを取り出します。

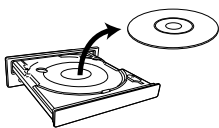


**6** 作成したオートバックアップメディアをドライブにセットします。



「バックアップジョブを作成する」14 ページ参照して作成します。

**8** オートバックアップメディアにバックアップジョブが作成されました。メディアを取り出します。

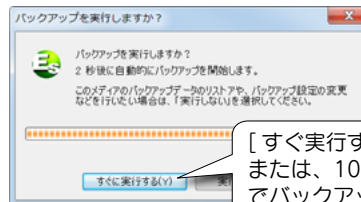


以上でオートバックアップメディアの作成は完了です。以降は、ドライブにセットするだけでバックアップをします。

### オートバックメディアにバックアップする

作成したオートバックアップメディア（バックアップジョブ設定済み）をドライブにセットします。

⇒以下の画面が表示されます。

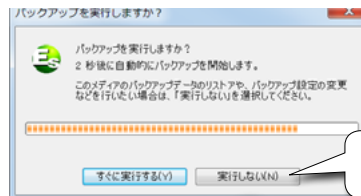


「すぐ実行する」をクリックまたは、10 秒以上待てば自動でバックアップを開始します。

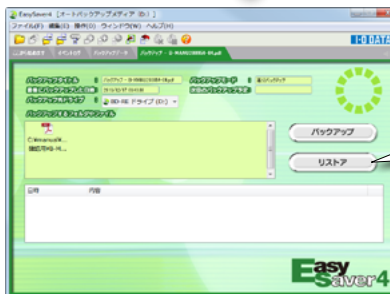
### リストア（復元）する

オートバックアップメディア（バックアップ済み）をドライブにセットします。

⇒以下の画面が表示されます。



「実行しない」をクリック



「リストア」をクリック

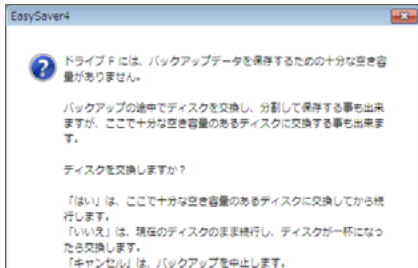
リストアの手順は、「リストア（復元）する」28 ページ参照。

# バックアップ先に十分な空き容量がない場合

バックアップ先に十分な空き容量がない場合は、分割してバックアップをおこないます。

※「差分バックアップ」の設定にしている場合、分割バックアップはおこなえません。  
※バックアップ先が、DVD-RAM、DVD-RW、CD-RW、MO などの書き換え可能リムーバブルディスクのみ分割バックアップをおこなえます。

**1** バックアップ先に十分な空き容量がない場合以下の画面が表示されます。



[はい]をクリック

はい(Y)

いいえ(N)

[いいえ]をクリック

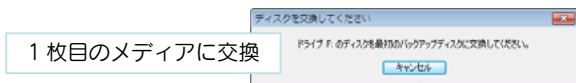
バックアップを  
続行します  
手順2へ

途中で以下の画面が表示されます。



[OK]をクリック

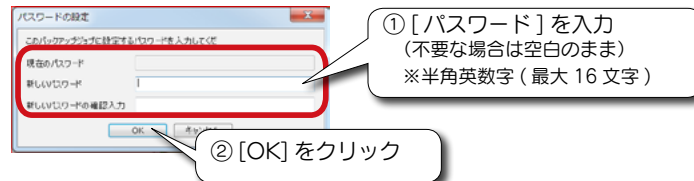
すべてのバックアップが終了すると  
以下の画面が表示されます。



1枚目のメディアに交換

手順2へ

**2**



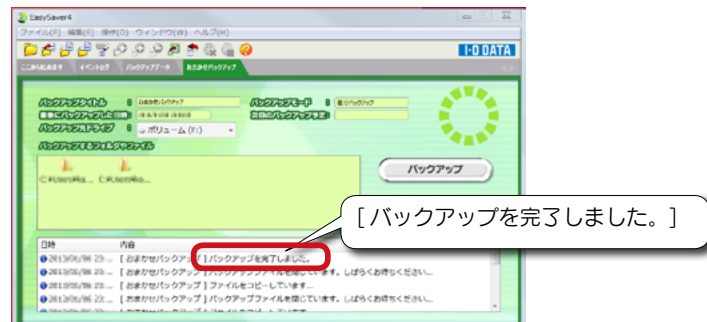
① [パスワード]を入力  
(不要な場合は空白のまま)  
※半角英数字 (最大 16 文字)

② [OK]をクリック

- パスワードは必ず、何かにメモしてください。パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。
- パスワードは「\*\*\*\*\*」と表示され確認できません。  
大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようご注意ください。
- 上記画面は初めてパスワードを設定する場合です。次回、パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを入力します。

**3**

バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示されます。



[バックアップを完了しました。]

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。

以上でバックアップジョブの作成、バックアップは終了です。  
作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、「バックアップジョブを開く」18ページへお進みください。



# バックアップジョブ設定引き継ぎ機能

保存されているバックアップジョブの設定内容を他のドライブに引き継ぐことができます。

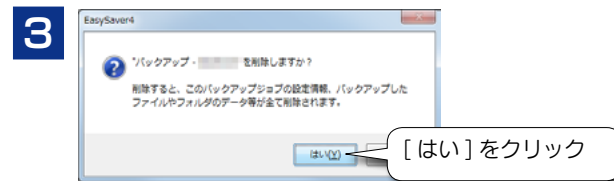
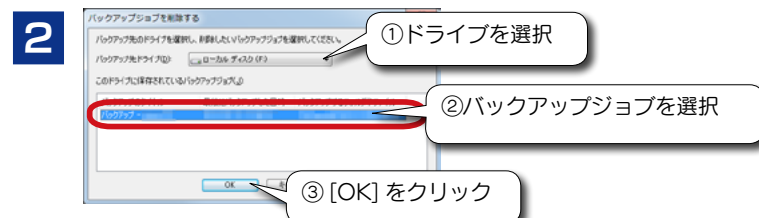
※バックアップ先に空き容量がなくなり、バックアップ先を変更したい場合などに便利な機能です。

**1** 他のドライブに設定を引き継ぎたいバックアップジョブを開きます。



# バックアップジョブを削除する

バックアップジョブを削除すると元に戻りません。十分確認してから削除してください。



パスワードが設定されていた場合



# EasySaver4 のプロパティについて

「EasySaver4 のプロパティ」画面では、タスクトレイにアイコンを表示する設定や、イベントログの設定、バックアップ結果のメール送信設定をおこなうことができます。



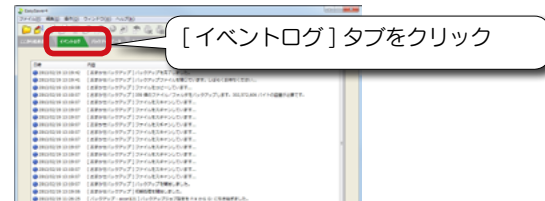
- スケジュールバックアップ・自動バックアップを設定していない場合には、上記の設定をおこなってもアイコンは表示されません。(スケジュールバックアップ・自動バックアップについては、「■スケジュールバックアップをする」22 ページ参照)
- タスクトレイにアイコンを表示する/しないの設定に関わらず、スケジュールバックアップ・自動バックアップの設定を行うと、EasySaver は常駐します。

## イベントログタブ

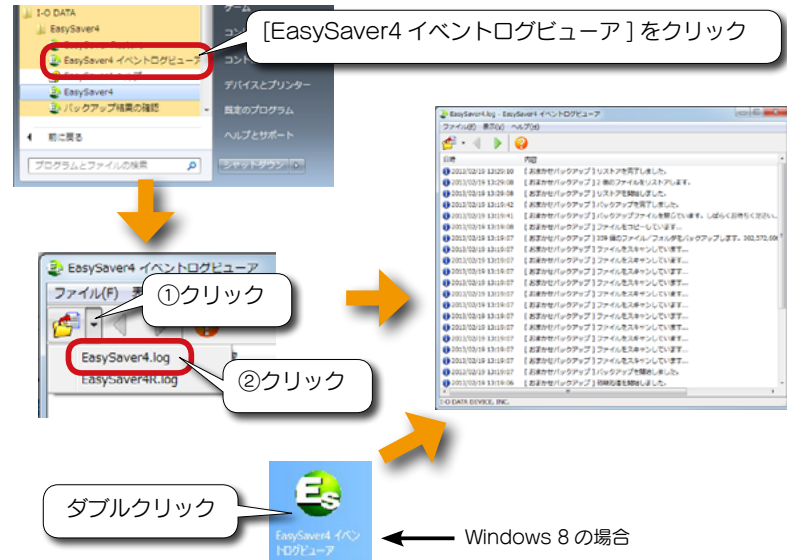


Windows のアプリケーションイベントログにもイベントを記録します。  
 ※ この機能は、Windows 8/7/Vista の管理者 (Administrator) および標準ユーザー、Windows XP/2000 の管理者 (Administrator) 権限でのみご利用になれます。

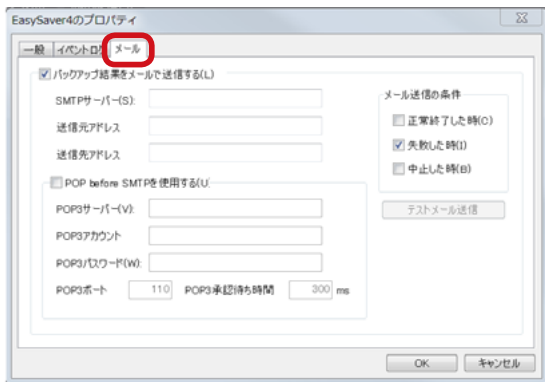
## ■イベントログの確認方法 (1)



## ■イベントログの確認方法 (2)

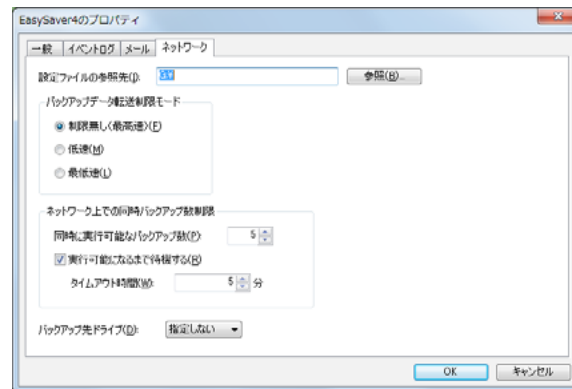


メールタブ



※ EasySaver4 Pro だけの機能です。

ネットワーク  
タブ



[ネットワーク] タブは「サービスモード」でのみ設定できます。  
「サービスモード」はネットワーク管理者の方のみが使用するモードです。  
詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。

■バックアップ結果をメールで送信する

バックアップ終了時に、バックアップ結果（イベントログ）をメールで送信します。

※お使いのプロバイダによっては正常にご利用いただけない場合があります。  
あらかじめご了承ください。

■メール送信の条件

どのような場合にメールを送信するかを指定します。  
(複数指定する事ができます。)

■テストメールの送信

クリックすると設定した宛て先にテストメールを送信します。

<p>設定ファイルの参照先</p>	<p>共通設定ファイルの場所を指定します。 ※設定ファイルの参照先を変更するとサービスモードが利用できなくなります。その場合は、マスターパスワードの設定ユーティリティにてマスターパスワードの再設定が必要となります。 よって通常、変更する必要はありません。</p>	
<p>バックアップデータ転送制限モード</p>	<p>制限無し（最高速）</p>	<p>ネットワークドライブへのバックアップ時にデータの転送速度を制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。 ※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、常に最高速で実行されます。 転送速度は制限されません。</p>
	<p>低速</p>	<p>最高速の約 66% 程度の速度。 ※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。</p>
	<p>最低速</p>	<p>最高速の約 33% 程度の速度。 ※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。</p>

ネットワーク上での同時バックアップ数制限	ネットワーク上で同時に実行可能なバックアップジョブの数を任意の数に制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。 ※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、バックアップ数に含まれません。	
	同時に実行可能なバックアップ数	「1 ~ 30」の範囲で設定します。
	実行可能になるまで待機する	本機能により、バックアップの開始が抑制された場合で、一定時間後、再度バックアップを実行する場合にチェックします。チェック後、下記の「タイムアウト時間」を設定します。
	タイムアウト時間	本機能により、バックアップの開始が抑制されてから、再度バックアップを実行するまでの時間を設定します。上記「実行可能になるまで待機する」にチェックをつけた場合のみ有効です。 「1 ~ 480」(分)の範囲で設定します。 ※上記「実行可能になるまで待機する」のチェックが外れている場合は、「待機しない」モードとなり、再実行しません。
バックアップ先ドライブ	バックアップ先ドライブを任意のドライブ文字(番号)に固定する機能です。各クライアント PC で指定可能なバックアップ先ドライブ文字(番号)を統一する事で、管理をし易くします。 「C ~ Z」、または「指定しない」の範囲で設定します。	

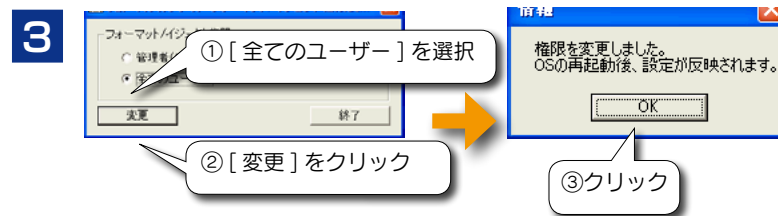
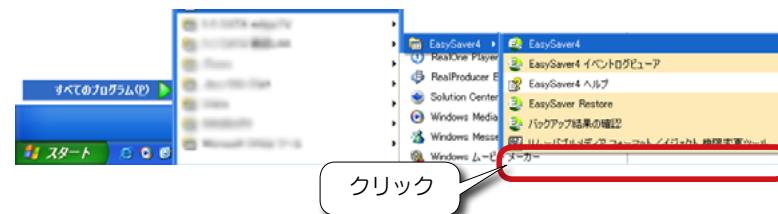
## 権限変更ツールについて

※ Windows XP/2000 のみ (Windows 8/7/Vista では設定不要)

「オートバックアップメディア」機能では、バックアップ完了後にメディアを自動的に取り出すように指定する事ができます。

但し、Windows XP/2000 では、コンピュータの管理者 (Administrator) 権限以外でログオンしている場合には、リムーバブルメディアを自動的に取り出す事ができません。この場合には、「リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール」でメディア取り出しの為の設定を行ってください。

- 1 コンピュータの管理者 (Administrator) アカウントでログオンします。
- 2 [スタート] → [(すべての) プログラム] → [I-O DATA] → [EasySaver4] → [リムーバブルメディア フォーマット/イジェクト権限変更ツール] の順にクリックし開きます。

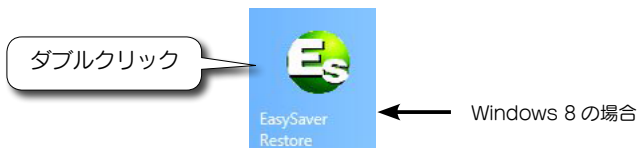
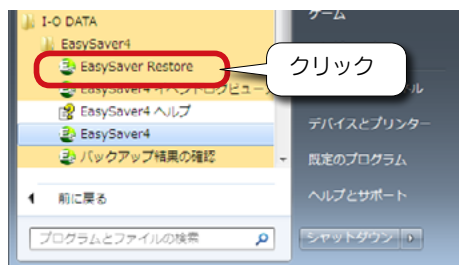


- 4 パソコンを再起動します。再起動後、設定が有効になります。

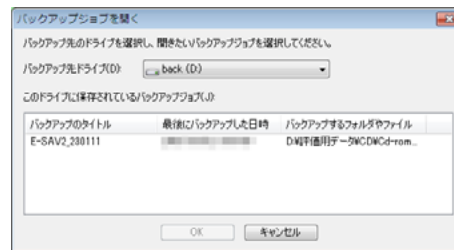
# EasySaver Restore について

他の弊社製 EasySaver (EasySaver や EasySaver LE 等) で作成されたバックアップジョブを開き、バックアップジョブの確認・リストアすることができます。

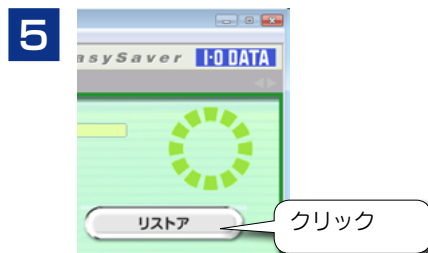
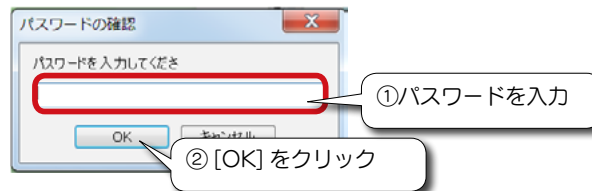
- 1** [スタート] → [(すべての) プログラム] → [I-O DATA] → [EasySaver4] → [EasySaver Restore] の順にクリックし開きます。  
Windows 8 の場合は、[EasySaver Restore] アイコンをダブルクリックします。



- 3** 他の EasySaver で以前にバックアップジョブを保存したドライブを選択します。  
以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、[OK] をクリックします。



- 4** バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。  
設定したパスワードを入力後、[OK] をクリックします。



以上でリストアは完了です。

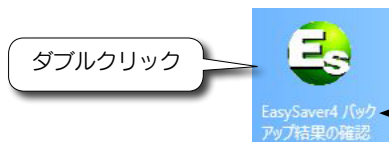
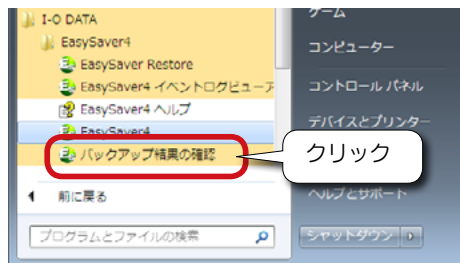
# バックアップ結果の確認について

前回のバックアップが正常に終了していない可能性がある場合、パソコン起動時、バックアップ結果の確認ウィンドウが自動的に表示される場合があります。表示されているジョブは前回正常に終了しなかったジョブですので、再実行することをお勧めします。

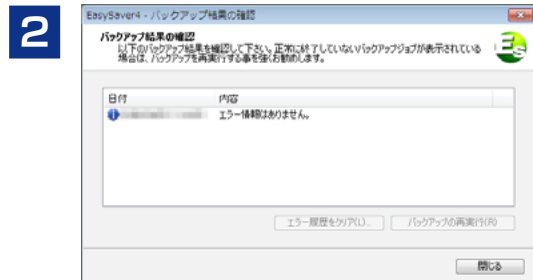
また、以下の手順でもエラー情報を確認することができます。

- 1 [スタート] → [(すべての) プログラム] → [I-O DATA] → [EasySaver4] → [バックアップ結果の確認] の順にクリックし開きます。

Windows 8 の場合は、[EasySaver4 バックアップ結果の確認] アイコンをダブルクリックします。



Windows 8 の場合

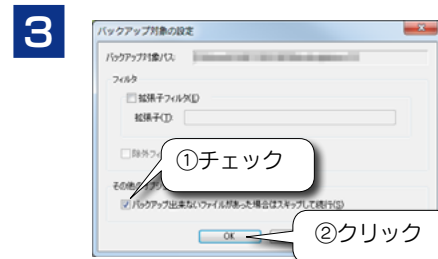
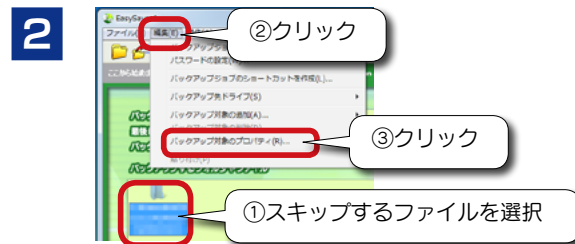


# バックアップ中にスキップする設定

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。以下のような場合は、バックアップ中にスキップする設定をしてください。

- ファイルが使用中でバックアップできない  
基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行してください。しかし、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合などは、バックアップできません。
- ファイル・フォルダ名に特殊な文字が使用されている  
一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。  
※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

- 1 バックアップが正常にできないバックアップジョブを開きます。「バックアップジョブを開く」18 ページ参照。



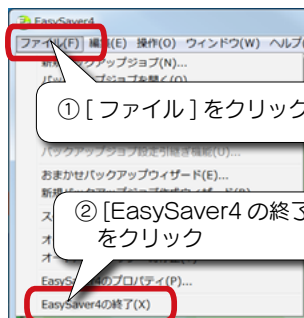
- 4
- 
- 正常にバックアップできることを確認してください。 55

バックアップ結果を確認し、正常に終了していないバックアップジョブが表示されている場合は、バックアップの再実行することをお勧めします。

# EasySaver の削除

コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

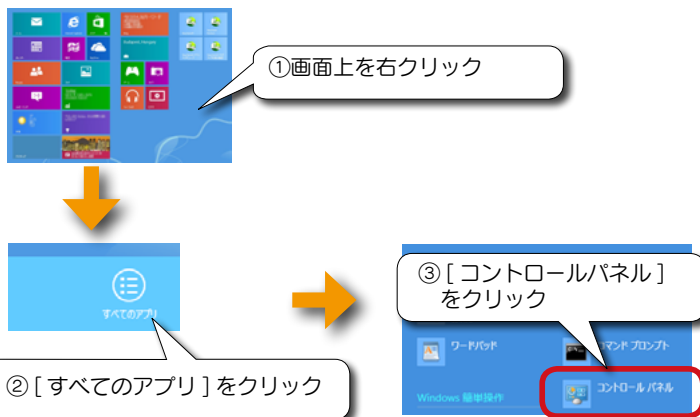
**1** EasySaver を終了します。



**2** [コントロールパネル] をクリックします。

## Windows 8 の場合

スタート画面上で右クリックし、右下に表示される [すべてのアプリ] をクリック→ [コントロールパネル] の順にクリックします。



## その他の Windows の場合

[スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] の順にクリックします。

**3** [プログラムのアンインストール] をクリックします。  
※以下の手順は、Windows 7 での例です。他の OS も同様にす  
めてください。

**4** [EasySaver4] をクリックし、[アンインストール] をクリッ  
クします。

**5** [OK] → [完了] ボタンをクリックします。

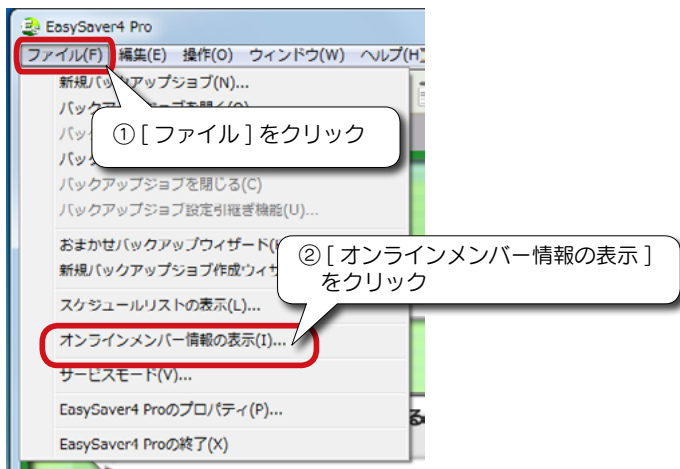


# オンラインメンバーを表示する

※ EasySaver4 Pro のみの機能です。

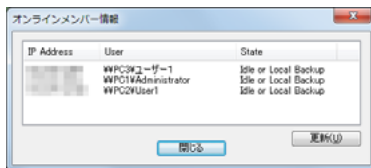
EasySaver4 Pro をインストールしているメンバーの状態を画面で確認することができます。

1



2

メンバーの「IP アドレス」と「ユーザー名」と「状態」を確認できます。  
最新の情報に更新する場合は [更新] ボタンをクリックしてください。




# ツールバーについて

EasySaver を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行することができます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

	新規バックアップジョブ	新規に空のバックアップジョブを作成します。
	バックアップジョブを開く	既存のバックアップジョブを開きます。
	バックアップジョブを保存する	現在表示されているバックアップジョブを保存します。
	バックアップジョブを設定する	現在表示されているバックアップジョブの設定をおこないます。
	バックアップジョブのプロパティ	現在表示されているバックアップジョブの設定を変更します。
	バックアップ対象フォルダの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のフォルダを追加します。
	バックアップ対象ファイルの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のファイルを追加します。
	バックアップ対象ファイルの削除	バックアップ対象リストで選択されているバックアップ対象フォルダ/ファイルを、バックアップ対象リストから削除します。
	バックアップ	現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。
	リストア	現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。
	中止	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ/リストアを中止します。
	一時停止 / 再開	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ/リストアを一時停止/再開します。
	ヘルプ	EasySaverのヘルプウィンドウを表示します。

# 困ったときには

トラブルの状態をご覧ください。また  ヘルプでも「よくある質問」や「エラーコード一覧」をご覧ください。

「サービス通信コマンドの送信の為のパイプ接続に失敗しました。EasySaver を終了します。」と表示され、EasySaver が起動せずに終了してしまふ。

**対処 1** 再度 EasySaver を起動しなおしてください。

**対処 2** Windows を再起動し、その後 EasySaver を起動しなおしてください。

## バックアップ時にエラーが発生する

**対処** 他のアプリケーションなどが、バックアップ対象のファイルを使用している可能性があります。バックアップ時は、バックアップ対象のファイルを使用するアプリケーションを全て終了させてください。ファイルがロックされていたり、ファイル/フォルダに特殊な文字が使用されている場合などには、バックアップすることができません。その場合、そういったファイル/フォルダをスキップする事でバックアップする事ができます。詳しくは、次ページ[バックアップ中にスキップする設定]を参照してください。

## リストアップ時にエラーが発生する

**対処** リストア先に同じ名前のファイルが存在する場合の上書き確認画面で、[すべて上書き] を選択すると、「アクセスが拒否されました」というエラーが発生する場合があります。  
[すべて上書き] ボタンを使用せず、[はい] をクリックして先へ進むようにしてください。

## バックアップモードを変更できない

**対処** 一度バックアップを実施した後は、バックアップモードは変更できません。

## 「ジョブファイルが見つかりません」のエラーが発生する

**対処** スケジュールが設定されているバックアップジョブをエクスプローラ等から削除してしまったり、ドライブやメディアをフォーマットしてしまったためです。  
[ファイル]→[スケジュールリストの表示]からバックアップスケジュールを削除してください。  
(「バックアップスケジュールを確認・削除する」26 ページ参照)

## ジョブ名が設定されているバックアップジョブがジョブ名が無題と表示される

**対処** バックアップファイルが壊れてしまったためです。バックアップファイルが保存されているドライブにチェックディスク等を行ってください。

# お問い合わせ

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください



『画面で見るマニュアル』の「困ったときには」を参照



弊社サポートページのQ&Aを参照

➔ <http://www.iodata.jp/support/>



最新のソフトウェアをダウンロード

➔ <http://www.iodata.jp/lib/>



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：050-3116-3020

※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。（This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.）
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

## 【商標について】

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows 8、7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP operating system の略称として表記しています。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市板田町2丁目84番地  
ホームページ：<http://www.iodata.jp/support/>